おうちで楽習保育®をやってみよう

本育®あそび編

ご家庭で絵本を読む機会はありますか？
絵本を通じてはぐくむ家族の時間は、心の栄養にも繋がります。
今回は、本育®あそび「よみきかせ」教育アドバイザーの児玉ひろ美先生から、ご家庭でできる読み聞かせのポイントや、保護者の方が絵本についてお寄せくださった質問へのアドバイスを伺い、紹介していきます。

ママ・パパの悩みに専門家が答えます！

Q 子どもが絵本に集中してくれず、本を閉じてしまったり、別の遊びを始めたりと最後まで読み切れないことが多いです。このままで良いのでしょうか。
(1歳／女児のママ)

A 1歳児さんにとって、読み聞かせは会話と遊びの延長です。最後まで読み切れないのも当然の姿でしょう。最初は集中できなくても、繰り返し読み聞かせをしていくことで、徐々に子どもは絵本に興味を示すようになっていきます。読み聞かせの際、おもちゃを片付ける、テレビは消すなど、集中しやすい環境づくりとともに、「ご本を読もうね」など、声掛けも大切です。もう少し大きいお子さんの場合は（3歳〜4歳）、絵本が、お子さんの興味関心に沿っているか、難しすぎていないか、選書を見直してみましょう。

Q 何度も同じ本を持ってきて、読んでほしいと催促してきます。親としては、もっと沢山の種類を読んで聞かせてあげたいのですがどうしたらよいですか。
(3歳／男児のママ)

A お気に入りの絵本は、望まれれば、何度でも読んであげましょう。やがて満足をして、自ら次の1冊に手を伸ばします。読後に感想を聞いたり、理解の確認をしたりはせず、子どもの自発的な言葉に耳を傾けましょう。

Q 絵本の中で、色を間違えたり（青色を指さして赤といったり）金魚を探すはずが、だるまさんを指さしてしまったりしたときは、「違うよ」と指摘した方がいいのでしょうか。
(1歳／男児のパパ)

A 読み聞かせは親子の楽しい触れ合いの時間です。何かを教えたり、しつけをしたりを目的とすることはお勧めできません。いつも通りの会話の延長で楽しみながら誘導すればよいでしょう。大切なことは、その時間が楽しいひと時であることなのです。

Q 絵本選びが苦手です、本屋さんでも多くの本が陳列されていて、どんな本を選んであげたらいいのか、ポイントが知りたいです。また、ネットで購入する際のアドバイスもあれば教えてください。
(2歳／女児のママ)

A まずはご自身がお読みになり、その楽しさをお子さんとシェアしたいと思う作品を選びましょう。お近くの公共図書館を利用なさるのも一案です。図書館の児童室では季節に合わせた絵本の紹介などもしていますし、年齢別のブックリストなども用意されています。また、最近はHPにもさまざまな案内がありますので、大いに活用しましょう。
インターネットでの絵本の購入は、あくまでも入手の手段です。レビューだけを選書の参考にすることはお勧めできません。絵本はお子さんの心の栄養です。食物同様、必ず大人が味見（読む）をしてからお子さんに手渡しましょう。気になる絵本があっても、購入前に現物の確認ができない時は、その出版社のHPも参考になります。

Q 自分で文字が読めるようになったのに、読んでほしいと本を持ってきます。読んであげたほうが良いのでしょうか。
(4歳／女児のパパ)

A 4歳児さんでは、文字が読めても意味はつかめていません。まして や絵本は、絵と文が一体となって、一つの世界＝物語を語っていますので、文字を読み始めのお子さんが、文字を追いながら絵を見る余裕はないことでしょう。お子さんが「読んで」と本を持ってきたら、どうぞ読んであげてください。

Q 物語を読んでほしいのですが、図鑑が好きでそればかり見ているのですが、いいのでしょうか。
(5歳／男児のママ)

A 好きなものがあるというのは素晴らしいことです。どうぞ、そっと見守ってあげてください。好奇心はやがて、外の世界（写真絵本や物語絵本）へお子さんを連れ出すことでしょう。その時、お子さんの手の届くところに、読むに値する本があることが大切なのです。日ごろから、一緒に図書館に図鑑を借りに行く、保育施設の絵本コーナーを見てみるなど、本を身近に感じるチャンスを作っておきましょう。この数年は空前の図鑑ブームです。読み物としても面白いものがありますので、是非お子さんと一緒に楽しんでください。

2020年出版 最新の!! おすすめ絵本 & おすすめポイント

『こねこが にゃあ』
作：ひろのたかこ／福音館書店
対象 0〜2歳　ISBN 9784834085259

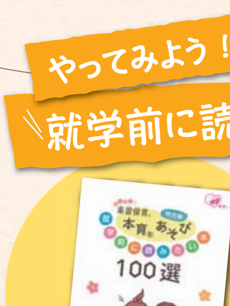
「にゃあお　おかあさんねこがよびました」すると、かごの中から、袋の中から、タオルの中から、カーテンの陰から「こねこが　にゃあ」。まるで子猫のかくれんぼです。「いいこ いいこ」と、お母さん猫に舐められる子猫たちの、なんて幸せそうなこと！言葉の少ない絵本は、表表紙から裏表紙まで、ゆっくりと、絵を読むような気持ちでページを進めましょう。

『ねられん ねられん かぼちゃのこ』
作：やぎゅうげんいちろう／福音館書店
対象 2〜4歳　ISBN 9784834085679

夜です。「そこの かぼちゃのこ はやく ねなさーい」お月様が言いました。ところが、「ねられん　ねられん」頭にカエルさんがのってては、ねられん。背中にイモムシさんがくっついてては、ねられん。おしりにカナブンさんがくっついてては…と、そう、素直に寝ない子どもの抵抗の儀式のようです。でも大丈夫！お月さまのおおらかな掛け声が眠りを誘います。

『こんにちは！ わたしのえ』
作：はたこうしろう／ほるぷ出版
対象 4〜6歳　ISBN 9784593100835

主人公と一緒に、大きな紙に全身を使って絵を描いてみましょう。最初が肝心。ためらわずに「おもいきって ぐっちょん！ ずういいいいいい」描くことのワクワクやドキドキを主人公と一緒に体験できるのは、絵本だからこその手法です。子どもなりに我慢の多い毎日です。色と戯れ、駆け抜けるような爽快感を、親子で一緒に愉しんでください。

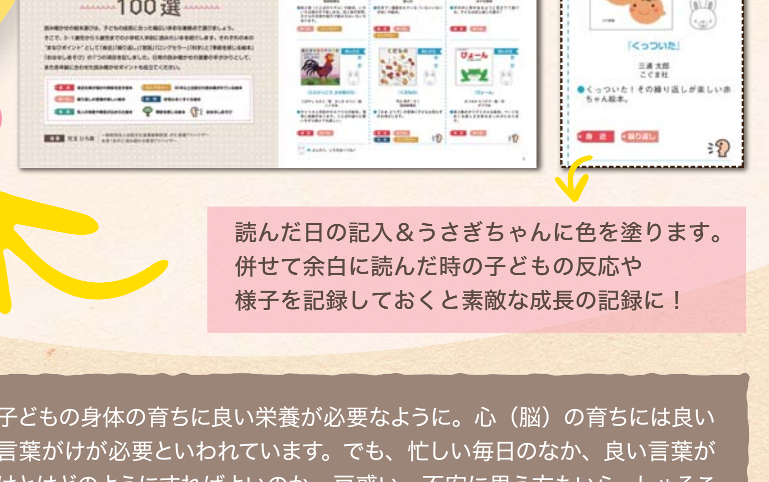


『はじまりは、まっしろな紙』
文：キョウ・マクレア　絵：ジュリー・モースタッド　訳：八木恭子／フレーベル館
対象 保護者　ISBN 9784577049013

1960年代初頭のアメリカでは、肌の色を区別する法律がありました。絵本の中でも然り、肌の色の違う赤ちゃんを同じページに描くことすら、許されませんでした。「街の中でも絵本の中でも、肌の色で人を分けるルールをなくさなくては！」と、絵本の中から人種差別撤廃の戦い挑んだ日系絵本作家の物語です。自身の辛い経験をばねに挑んだ女性の物語は、働く私たちへのエールでもあります。

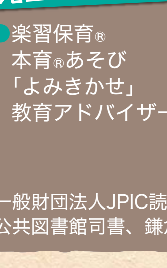
やってみよう！ 就学前に読みたい本100選の活用方法

お子さんが大きくなった時にプレゼントしてもいいですね！



読んだ日の記入＆うさぎちゃんに色を塗ります。
併せて余白に読んだ時の子どもの反応や様子を記録しておくと素敵な成長の記録に！

専門家の声 VOICE



こだま ひろみ
児玉 ひろ美先生
楽習保育®
本育®あそび
「よみきかせ」
教育アドバイザー

子どもの身体の育ちに良い栄養が必要なように。心（脳）の育ちには良い言葉がけが必要といわれています。でも、忙しい毎日のなか、良い言葉がけとはどのようにすればよいのか、戸惑い、不安に思う方もいらっしゃることでしょう。そんな時お薦めなのが、**絵本の読み聞かせ**です。絵本には作者と編集者らによって、選び抜かれた美しい言葉が、心地よいリズムで詰まっています。**『就学前に読みたい本100選』**で年齢別にご紹介している様々なタイプの絵本の中には「ロングセラー」のアイコンが付されている絵本もあります。絵本選びに迷った際には是非ご参考になさるとよいでしょう。
一年に凡そ1300点近く出版される絵本ですが、ロングセラーとなる作品は、本当に僅かわずかです。今回ご紹介の4点の絵本はいずれも2020年出版の新しい絵本ですが、21世紀、そして令和のロングセラーを作るのは、まさに今、子育て中の皆さんです。ロングセラー絵本と新刊絵本の両輪で、お子さんと一緒にお楽しみいただければ幸いです。

一般財団法人JPIC読書アドバイザー
公共図書館司書、鎌倉女子短期大学非常勤講